

## 令和7年度名寄市町内会ネットワーク研修会開催要綱

1. 目的 私たちが暮らす地域には子どもから高齢者、障がいのある方など様々な住民が暮らしており、その全ての住民が当たり前に幸せに暮らすことのできる地域の実現には、そこに暮らす住民同士の支え合いや地域活動が不可欠です。本研修は、町内会をはじめとした様々な地域福祉活動のこれからを考え、住民同士が支え合い、安心して暮らすことのできる地域・まちづくりにつなげることを目的として開催します。
2. 主催 社会福祉法人 名寄市社会福祉協議会
3. 共催 名寄市町内会連合会／名寄市民生委員児童委員連絡協議会／名寄市立大学  
(予定)
4. 後援 名寄市  
(予定)
5. 日時 令和8年2月13日(金) 14:00~16:00(受付13:30~)
6. 場所 名寄市立大学 図書館1階 大講義室(名寄市西4条北8丁目)
7. 内容 トークセッション  
「歴史からひも解く支え合い  
～名寄の災害の歴史と近年の災害時における事例から～」  
■パネラー  
園崎 秀治 氏(オフィス園崎 代表)  
篠原 辰二 氏(一般社団法人 WellbeDesign 理事長)  
江連 崇 氏(名寄市立大学社会福祉学部社会福祉学科 講師)
8. 参加対象 どなたでも参加いただけます。
9. 参加費 無料
10. 定員 申込先着250名
11. 申し込み 令和8年2月6日(金)までに申込フォーム、申込用紙、電話のいずれかの方法によりお申込みください。



## 12. その他

災害等により中止となる場合がございます。その場合は申込時にいただいた連絡先へご連絡する他、本会ホームページ、SNSにて周知します。

### ■講師紹介

#### ■園崎 秀治 氏プロフィール

1994年、早稲田大学教育学部を卒業、社会福祉法人全国社会福祉協議会に入職。

1999年、台湾中部大震災（死者2,415人、行方不明29人）支援のため2度現地入り。

2005～12年、14年～18年 ボランティアセンターの災害担当として、災害発生時に先遣として現地入りし、全国段階での支援の要否確認に入る役割を担ってきた。

立ち上げた saigaivc.com は、災害ボランティア活動の情報発信の中心として定着した。

訪問した災害ボランティアセンターの数は154を数える（2025.11時点）。

11年にわたって、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）による災害ボランティアセンターの運営を支援する支援者派遣の調整を担う。

災害時には、各方面の関係者をつないで協働を推進、支援が円滑に行われるよう働きかけを行ってきた。

東日本大震災では自らの住む浦安市も液状化で被災する。

2021年、27年勤めた社会福祉法人全国社会福祉協議会を退職。

より柔軟に、より積極的に全国各地の防災・減災活動支援、被災地支援に貢献すべく、独立。被災地支援の三原則（被災者中心、地元主体、協働）を旨とする「オフィス園崎」として活動を開始している。

#### ■篠原 辰二 氏

社会福祉協議会に14年勤務。地域特性を踏まえた各種の地域福祉事業や地域防災事業の経験から、地域住民と共に創る福祉のまちづくりを展開。篠原社会福祉士事務所代表、北海道地域福祉学会理事兼事務局長、日本福祉教育・ボランティア学習学会特任理事、北海道医療大学・日本福祉大学・札幌リハビリテーション専門学校非常勤講師。社会福祉士、伴走型支援士、福祉教育推進員、防災士。1976年生まれ。道都大学社会福祉学部卒、北海道伊達市出身。

#### ■江連 崇 氏

名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科講師

社会福祉の歴史研究を専門とし、近年は高度経済成長期の地域での「非行防止」について研究。2026年刊行予定の『名寄市史』では社会福祉を担当。

1987年生まれ。2010年名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科卒業、2012年専修大学大学院文学研究科社会学専攻修士課程修了、2018年同大学院博士後期課程修了。博士（社会学）。社会福祉士。

### ◇問い合わせ・申し込み先

名寄市社会福祉協議会（担当：地域支援係）

（名寄市西1条南12丁目 名寄市総合福祉センター内）

TEL:01654-3-9862／FAX:01654-3-9949

E-mail:chiiki@nayoro-shakyo.jp